

科学研究費助成事業 研究成果報告書



令和 6 年 6 月 30 日現在

機関番号： 9 9 9 9 9
研究種目： 奨励研究
研究期間： 2023 ~ 2023
課題番号： 2 3 H 0 5 0 2 9
研究課題名 小学校観光教育における地歴連携授業の開発と実践

研究代表者

小澤 裕行 (KOZAWA, Hiroyuki)

犬山市立犬山北小学校・小学校教員

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 340,000 円

研究成果の概要： 本研究の成果は、観光地である京都を取り上げた地歴連携授業のモデルを示したことである。開発した授業モデルを実践した結果、児童の振り返りに、地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方を意識した記述が見られた。よって、開発した授業モデルは地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方を育成する上で有効であった。

一方、地歴連携の視点だけでは観光教育において重要な視点である持続可能な観光について考えさせることが不十分であった。観光教育で育てたい資質を育成するためには、地歴連携の視点だけでなく、公民分野の視点を取り入れて授業行う必要があるという課題が明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでの観光教育では、観光地を産業や食習慣などの表面的な事象把握しているに過ぎず、観光地を地理的条件・歴史的条件の双方の視点で考察する地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方の双方を取り入れた実践は見られない。本研究は、小学校の観光教育において、学習指導要領で重視されている社会的な見方・考え方を育成するために、地理的な要素と歴史的な要素を組み合わせた授業（地歴連携授業）が有効であることを示した。

観光教育において地歴連携授業を取り入れることにより、観光地への理解を深めるだけでなく、社会的な見方・考え方を効果的に育成することが期待できる。

研究分野： 社会科教育

キーワード： 小学校社会科 観光教育 地歴連携

1. 研究の目的

本研究の目的は、小学校社会科教育で近年注目されている観光教育において、学習指導要領で重視されている社会的な見方・考え方を育成するために、地理的な要素と歴史的な要素を組み合わせた授業（地歴連携授業）が有効であるかどうかを検証することにある。これまでの観光教育では、観光地を産業や食習慣などの表面的な事象把握しているに過ぎず、観光地を地理的条件・歴史的条件の双方の視点で考察する地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方の双方を取り入れた実践は見られない。

本研究では、地理や歴史に関する事象を取り上げるだけでなく、地理的な見方・考え方と歴史的な見方・考え方を意識して連携させるという視点から、授業を開発し実践する。これにより、観光教育で育む資質・能力を育成するだけでなく、社会的な見方・考え方を効果的に育成することが期待できる。

2. 研究成果

本研究の成果は、3点ある。

1点目は、小学校6年生を対象に、観光地である京都を取り上げた地歴連携授業のモデルを示したことである。京都を取り上げた理由は、6年生の社会科の歴史分野で度々学習するのに加え、実践校の修学旅行先であるため、児童の興味関心を引き出せると考えたからである。京都に多くの観光客が訪れる理由を探るという大きなテーマのもと、授業「京都はなぜ正方形や長方形の町並みが多いのだろうか」授業「京都は景観を守るために、いつからどんな取り組みをしているのだろうか」という2つの授業モデルを開発した。

2点目は、開発した授業モデルが、地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方を育成する上で有効であることを示したことである。授業と授業の児童の振り返りには、地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方を意識した記述が見られた。

3点目は、開発した授業モデルが、観光地への理解を深める上で非常に有効であったことである。授業と授業の児童の振り返りには、観光地である京都について理解できたという内容の記述が多く見られた。

一方、地歴連携の視点だけでは観光教育において重要な視点である持続可能な観光について考えさせることが不十分であった。そこで、京都のオーバートーリズムの問題を取り上げ、持続可能な観光について考えさせる授業をさらに開発し、実践した。

これにより、持続可能な観光についてどうしたらよいかを考えさせることができた。また、児童の振り返りには、自分たちが住む地域における持続可能な観光について考えていこうとする視点が見られた。観光教育で育てたい資質を育成するためには、地歴連携の視点だけでなく、公民分野の視点を取り入れて授業行う必要があるという課題が明らかになった。

有名な観光地を取り上げた後、自分たちの住む地域の観光について地歴連携授業を行い、有名な観光地と地域を比較・考察する単元を開発することが今後の課題である。

主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1．発表者名 小澤 裕行
2．発表標題 小学校観光教育における地歴連携授業の開発と実践
3．学会等名 全国地理教育学会
4．発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

研究組織（研究協力者）

氏名	ローマ字氏名
近藤 裕幸	(KONDO Hiroyuki)